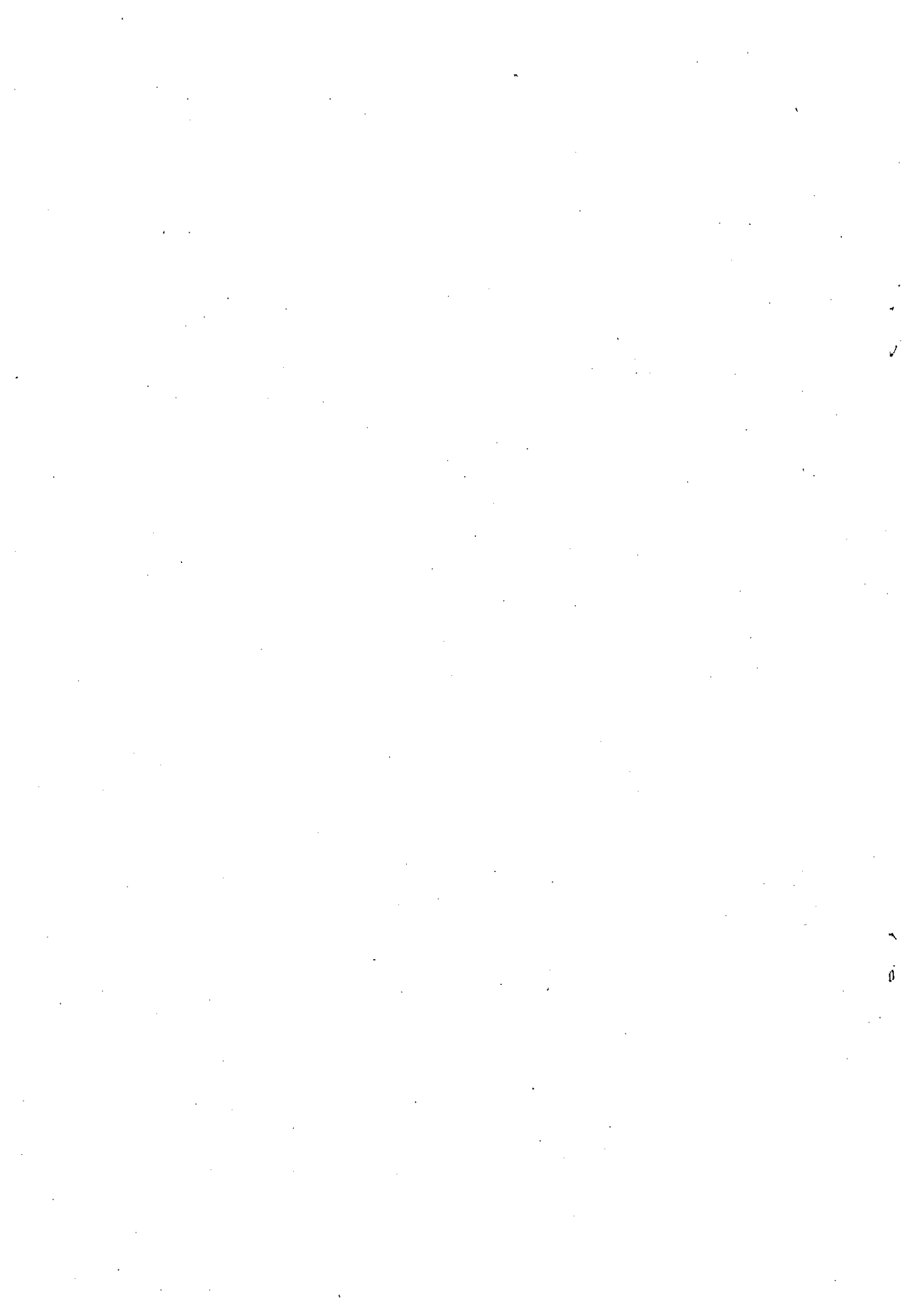


農林水産商工常任委員会資料

(平成28年12月15日)

項目	ページ
1 平成28年度鳥取県ビジネスプランコンテストについて 【産業振興課】……………1	1
2 智頭町大麻栽培者逮捕事件に伴う補助金返還に向けた対応状況について 【産業振興課】……………2	2
3 “ちいさな企業”交流キャラバン（鳥取県鳥取市）の開催について 【企業支援課】……………3	3
4 三洋製紙バイオマスプラントの本格稼働の開始について 【企業支援課】……………4	4
5 「鳥取働き方改革推進会議」の開催結果について 【労働政策課】……………5	5
6 とっとりプロフェッショナル人材戦略拠点の活動状況について 【就業支援課】……………6	6

商工労働部



平成28年度鳥取県ビジネスプランコンテストについて

平成28年12月15日
産業振興課

今年度から鳥取県ビジネスプランコンテストを「総合部門」、「起業女子部門」、「学生部門」の3部門に分けて実施することとし、公募（9月中旬～11月中旬）の結果、県内企業や女性起業家、学生等から51事業プランの応募があり、一次審査（書類審査）で24プランが選考されました。12月20日（火）に最終審査会を開催し、各部門ごとに大賞、奨励賞を決定します。

なお、「起業女子部門」の最終審査会でのプレゼンテーションは、今年度実施している『鳥取の未来に革新を！とっとり起業女子応援事業』の「第4回事業プラン発表会」として公開で行います。

1 ビジネスプランコンテストの概要と応募状況

(1) 概要

県内の産業、経済及び社会の活性化につながる事業化を支援するため、独自の技術やアイデアを基にしたビジネスプランを募集、特に優れたものについて表彰する。

(2) 表彰部門

総合部門、起業女子部門、学生部門の3部門

(3) 応募事業プラン数および一次審査通過プラン数

応募総数:51件 ⇒ 一次通過数:24件

(内訳) 総合部門25件 ⇒ 10件、起業女子部門20件 ⇒ 10件、学生部門6件 ⇒ 4件

※昨年度16件(主催:産業振興機構、総合部門のみ)

2 最終審査会

(1) 実施日 12月20日(火)

(2) 表彰 総合部門:大賞(鳥取県知事賞)1、奨励賞2

起業女子部門:大賞(鳥取県知事賞)1、奨励賞1

学生部門:大賞(鳥取県知事賞)1、奨励賞1

(3) 審査委員

(株)日本政策投資銀行	女性起業サポートセンター長	原田 文代(はらだふみよ)	氏
REVICキャピタル(株)	代表取締役	田中 雅範(たなかまさのり)	氏
(株)ビザスク	代表取締役	端羽 英子(はしばえいこ)	氏
トーマツベンチャーサポート(株)	海外事業部	金澤 静香(かなざわしずか)	氏
とっとりプロフェッショナル人材戦略マネージャー		松井 太郎(まついたろう)	氏

(4)「起業女子部門」のプレゼンテーションを第4回とっとり起業女子事業プラン発表会として公開で実施

①時 間 午後1時30分～6時15分

②場 所 チコ&田園「ラ・メゾンド・ブランシュ」(鳥取市)

③参加予定者数 100名(現在、既に満席)。

④プレゼンテーション後、県内女性起業家3名と起業支援の専門家によるトークショーを開催。

テーマ:「鳥取を元気にする!女性起業家の活躍」

<県内女性起業家> (株)nido 代表取締役 中村 彩(なかむら あや) 氏

(株)ナガトウ 取締役 永東 昌美(ながとうまさみ) 氏

(株)西河商店 代表取締役 西河 葉子(にしかわようこ) 氏

<ファシリテーター> トーマツベンチャーサポート(株) 金澤 静香 氏

智頭町大麻栽培者逮捕事件に伴う補助金返還に向けた対応状況について

平成28年12月15日
産業振興課

公益財団法人鳥取県産業振興機構が、(株)八十八や(代表取締役 上野俊彦)に交付した助成金について、11月4日付けで交付決定を取り消し、全額返還命令を発出しました。今後継続して返還交渉を行う予定です。

1 (株)八十八やへの助成内容

・事業名 とっとり次世代・地域資源産業育成事業

〔※県と中小企業基盤整備機構がファンド(総額50億円)を造成し、その運用益により地域資源等を活用した研究開発、販路開拓等を支援する事業。〕

・実施主体 公益財団法人鳥取県産業振興機構

・助成対象事業名 60年ぶりに栽培復活した智頭麻の研究開発及び販路開拓

・助成対象事業者 (株)八十八や 代表取締役 上野俊彦

・採択年度 平成26年度

(事業期間:2年間、平成27年2月13日～平成29年2月12日)

・交付決定額 600万円(うち300万円を平成27年3月に前金払)

2 事件後の対応状況

(1) 交付決定の取消

11月4日付けで交付決定を取り消し、支払った300万円について全額返還命令を行った。

〔交付決定の取消事由〕

代表者逮捕及び大麻の栽培免許取消により、事業を遂行できないことが明確になったことによる交付決定内容違反。

(2) 今後の対応方針

- ・返還期限の11月25日までに返還されなかったため、今後も継続して返還を求めていく。
- ・なお、補助金審査に当たって、事業内容だけでなく総合的に審査できるよう、申請様式に代表者に関する項目(代表者の職歴等)を追加するなどの見直しを行う予定。

<参考> 大麻事件に係るこれまでの経緯

- ・10月4日 上野代表及び従業員2名が、大麻の不正所持の現行犯として逮捕。
- ・10月19日 大麻栽培者免許の取消(県)
- ・10月20日 大麻栽培地内の大麻草を事件捜査の証拠品として押収。
- ・10月24日 上野代表及び従業員2名が、大麻譲渡等の疑いで再逮捕。
- ・11月11日 上野代表は大麻取締法違反(所持・譲渡)、従業員2名は大麻取締法違反(所持)の罪で起訴。

“ちいさな企業” 交流キャラバン（鳥取県鳥取市）の開催について

平成28年12月15日
企業支援課

中小企業庁では、厳しい経営環境の中、“ちいさな企業”が持続的に発展していくため、「何が本当の課題か」、「今求められている対策は何か」について、地域の事業者や支援主体の方々と直接、交流・対話を行う『“ちいさな企業”交流キャラバン』を全国各ブロックで開催し、伺った「生の声」を参考として今後の政策の立案や改善等につなげていくこととしています。

中国地域では、下記のとおり中小企業庁、中国経済産業局、鳥取県の3者により、鳥取市で開催します。

記

- 1 日時 平成28年12月16日（金） 午後2時～4時30分
- 2 場所 とりぎん文化会館 第3会議室（鳥取市尚徳町101番地5）
- 3 出席者 県内の中小企業・小規模事業者、支援機関、専門家、自治体、経済産業省関係者
- 4 次第
 - (1) 開会
平井鳥取県知事、宮本中小企業庁長官が挨拶予定
 - (2) 中小企業・小規模事業者政策について
 - (3) 中小企業・小規模事業者の取組紹介（10事業者）
テーマ「生産性向上・ITの利活用、事業承継」
 - (4) 支援機関・自治体の取組紹介
 - (5) 意見交換
 - (6) 閉会
- 5 主催 中小企業庁、中国経済産業局、鳥取県
※平成28年9月5日に中小企業庁、中国経済産業局、鳥取県が締結した「鳥取県中小企業者等支援に関する連携協定」に基づき、3者で開催

【出席者（予定）】

- ・中小企業・小規模事業者（10事業者）
〔あおやサイエンス(株)、(株)旺方トレーディング、(有)亀井堂、(株)ゼンヤクノー、総合印刷出版(株)
(株)nido、早島設備(有)、船本建設(有)、(株)吉谷機械製作所(以上、鳥取市)、(有)ひよこカンパニー(八頭町)〕
- ・支援機関（鳥取県商工会連合会、鳥取商工会議所、鳥取県中小企業団体中央会、鳥取県事業引継ぎ支援センター）
- ・自治体（鳥取県知事及び商工労働部長、鳥取市経済観光部長）
- ・経済産業省（中小企業庁長官、中国経済産業局局長及び産業部長）
- ・コーディネータ（(株)LASSIC取締役）

【“ちいさな企業” 交流キャラバン開催状況】

- ・平成28年度：全国各地で開催予定
〔千葉県松戸市(関東)、鳥取県鳥取市(中国)、沖縄県うるま市(九州) ※他地域は調整中〕
- ・平成27年度：全国8箇所で開催
〔北海道札幌市(北海道)、宮城県栗原市(東北)、千葉県銚子市(関東)、三重県尾鷲市(中部)
京都府京丹後市(近畿)、島根県雲南市(中国)、香川県丸亀市(四国)、熊本県天草市(九州)〕

三洋製紙バイオマスプラントの本格稼働の開始について

平成 28 年 12 月 15 日
 環境立県推進課
 県産材・林産振興課
 企業支援課

平成 26 年 9 月に事業着手した三洋製紙バイオマスプラントについて、平成 29 年 1 月 1 日から固定価格買取制度（FIT）に基づく売電を開始し、本格稼働することとなりましたので、報告します。

《バイオマスプラントの概要》

重油高騰とFITの開始を契機として、工場の重油ボイラーをバイオマスボイラーに転換するもの。

1 設備等

- 規模 蒸気 70 t/h
- 発電機 16,700 kW
- 事業費 約 70 億円

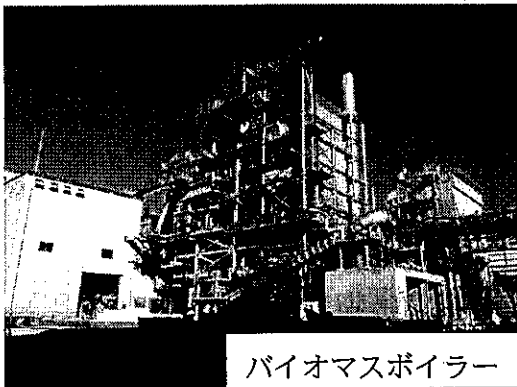
2 燃料（予定） 木質チップ、パームヤシ殻（PKS）、パルパ粕*

※製紙工程で発生する古紙に混入したプラスチック屑等

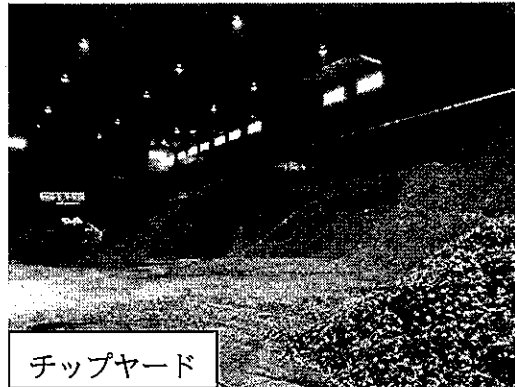
3 新規直接雇用 7 名

4 本格稼働までのスケジュール

- 事業着手（契約日） 平成 26 年 9 月 19 日
- 設備認定（経産省） 平成 27 年 1 月 27 日
- 試運転 平成 28 年 11 月 1 日から 12 月 20 日頃（予定）
- FIT 売電開始 平成 29 年 1 月 1 日（予定）



バイオマスボイラー



チップヤード

（参考）県の主な支援

1 三洋製紙への直接的な支援

内容	支援額	担当課
中国電力の系統に接続するために必要な支援	39,683 千円(H27)	環境立県推進課
バイオマスボイラー導入（熱利用）に対する支援	50,000 千円(H27)	環境立県推進課
ふるさと財団の「ふるさと融資」（対象費用の 35%を上限に県が無利子貸付を行うもの）活用による資金調達の支援	21 億円(H28)	企業支援課
鳥取港での PKS 等外国貿易に対する支援	1,600 千円(H28)	空港港湾課

2 三洋製紙への間接的な支援

内容	支援額	担当課
PKS 等の燃料を船舶より鳥取港に荷揚げ・保管するために必要な施設整備（クレーン用バケットの導入）	28,944 千円 (H27)	空港港湾課
木質燃料の安定供給に向けた山側への支援（燃料用原木の貯木支援）	15,000 千円(H28)	県産材・林産振興課
果樹剪定枝等未利用バイオマスの燃料化に対する支援	900 千円(H28)	環境立県推進課

「鳥取働き方改革推進会議」の開催結果について

平成28年12月15日

雇用人材局労働政策課

元気づくり推進局女性活躍推進課

子育て王国推進局子育て応援課

「質の良い雇用を創出・確保」し、若者の地方への定着により人口減少に歯止めをかけるため、「働き方改革」に関して、県、労働局、市町、商工団体、労働団体、高等教育機関等関係者が取組の方向性と内容について議論する「鳥取働き方改革推進会議」（鳥取労働局主催）を設置し、平成28年12月6日に第1回会議を開催しましたので概要を報告します。

1 鳥取働き方改革推進会議の設立趣旨

地域の実情に応じた働き方改革の取組をこれまで以上に強力に推し進めるため、広く地域の関係者を変え、鳥取県における働き方に関する課題や、今後の働き方改革の取組の方向性及びその内容について意見交換を行う場として設置する。

2 会議構成員

議長 鳥取労働局長

副議長 鳥取労働局総務部長、鳥取県商工労働部雇用人材局長

構成員 鳥取労働局各部室長、鳥取県関係部局長、鳥取市、伯耆町、県経営者協会、県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、連合鳥取、県労働基準協会、とっとり女性活躍ネットワーク会議、鳥取大学、鳥取銀行、鳥取信用金庫

3 今後の進め方

年度内に3回程度開催し、次の3つのテーマについて議論を深め、今後3年程度の「アクションプラン」を作成する。

このアクションプランに基づき、関係機関が連携し、「働き方改革」の取組を推進していく。

【主なテーマ】

- 仕事と子育て等を両立できる職場環境の構築
- 男性も含めた働き方・労働慣行の見直しを通じた女性活躍の推進
- 人材活用と業務の効率化等を通じた労働生産性の向上

4 第1回会議における参加者からの意見概要

- ・人材確保が喫緊の課題となっているが、働きやすい環境がなければ人が集まらない。
- ・県の各種制度や好事例を、高校生、大学生、その保護者にもっと届けることが重要である。
- ・働き方改革に対するインセンティブを設け、実効性を確保することも必要である。
- ・若い人たちが力を発揮していけるよう、男性も交えて働き方改革を情報発信していきたい。
- ・働き方改革の必要性の認識が低い企業、事業主にどのように問題意識を持ってもらうかが課題。
- ・ワークライフバランスに取り組みつつ企業の業績を上げる労使一体となった取組が必要。

とっとりプロフェッショナル人材戦略拠点の活動状況について

平成28年12月15日
就業支援課

平成27年11月に、国の委託事業として「とっとりプロフェッショナル人材戦略拠点」を設置したところであり、現在までの活動状況と実績について報告します。

1 とっとりプロフェッショナル人材戦略拠点の概要

県内中小企業の経営者へ働きかけ、攻めの経営戦略に必要な都市部のプロフェッショナル人材の採用支援を実施（H27.11.26設置）。

- ・委託先：一般社団法人鳥取県経営者協会
- ・住所：三井生命鳥取ビル4階（鳥取市本町2-123）

2 体制（4人体制）

- ・マネージャー：松井太郎（H28.1.6就任）
※H8年ソフトバンク（株）入社、（株）サイバー・コミュニケーションズ立ち上げに参画
※H26年（株）コンパスを設立。中小企業の販路開拓コンサルティング、マーケティング支援、中途採用の人材紹介を手がける。
- ・サブマネージャー：塩田聰（鳥取銀行OB）、澤口睦男（鳥取大丸OB）、吉浦啓二（信用金庫OB）

3 相談、成約件数等

○平成28年11月末までの活動状況

相談	経営者からの相談件数（人材・経営等）	95件
	事業説明等を実施した企業数	219社
取り次ぎ	民間人材ビジネス業者への取り次ぎ件数	57件
成約	成約件数（プロ人材） ・企業経営者への働きかけ及び体験ツアーが成約に結びついた。 <主な事例> ・マーケティングディレクター（東京在住）…（株）バルコス（バックなどの企画・販売） ・アートディレクター（大阪在住等）…（株）円形劇場（フィギュアミュージアム活用） ・新分野進出のためのシステムエンジニア（大阪在住等）…（株）アクシス（IT企業） ・経営幹部（大阪在住、大手銀行出身）…日本電産マシナリー（株）（製造業）	9件

4 セミナーの開催状況

- （1）「人材確保の実践ノウハウ」（東部（5/18）、中部（3/23）、西部（3/23）計3回）参加者：60名
講師：三倉信人氏（SBヒューマンキャピタル（株））
- （2）「リーダー人材に求められるもの」（6/9）（ホテルニューオータニ鳥取）参加者：163名
講師：岩田松雄氏（元スターバックスCEO）
- （3）「プロ人材の活躍が企業経営にもたらすメリット」（11/16）（米子全日空ホテル）参加者：73名
講師：橋本真由美氏（ブックオフコーポレーション（株）取締役相談役）

5 協議会の開催

- ・とっとりプロフェッショナル人材戦略協議会（計5回開催）
※拠点の施策を浸透させ、効果的なものとするため、県内の商工団体や金融機関、民間ビジネス事業者等をメンバーとして設置。
※商工団体及び金融機関を通じて、松井マネージャーが企業等に戦略拠点の事業説明を実施。

6 関連事業

- ・鳥取県首都圏プロ人材転職フェア（（株）ビズリーチ主催）
日時：平成28年9月14日 午後7時～9時30分
場所：渋谷クロスタワー内（株）ビズリーチイベント会場（渋谷区渋谷2-15-1）
参加者：82名、参加企業9社
とっとりプロフェッショナル人材戦略拠点は、県内企業への周知、取組状況等の説明
- ・転職フェアの参加者を中心に鳥取の仕事と暮らしを体験するためのツアーを実施

鳥取県首都圏プロ人材現地体験ツアー（（株）ビズリーチ主催）
開催日：平成28年10月15日～16日
企業見学：（株）アクシス、（株）トリクミ、（株）バルコス、吉田建設（株）、（株）LASSIC
参加者：14名（うち、2名がマッチングに結びついた）、参加企業5社